

プレスリリース

(※ドイツにて 2025 年 7 月 1 日に配信されたプレスリリースの和訳版となります)

Miele、IFA キックオフに登壇：“Imagine the Future” – 家での利便性を向上させる革新的なソリューション



- ▶ 未来のキッチン的一端を示す Living Tomorrow プロジェクト
- ▶ Triflex HX3 Pro Aqua コードレススティック掃除機によりウェットクリーニングに参入
- ▶ 「次のレベルの調理」の到来を告げる Miele の新しいダウンドラフト型排気装置
- ▶ IFA 2025 では、モジュール式展示会コンセプトがこれまで以上にサステナブルに

ドイツ・ギュタースロー／ベルリン発、2025 年 7 月 1 日 – 未来の暮らしはどのようなものになるのでしょうか？その中で家はどのような役割を果たすのでしょうか？Miele の DACH 地域担当兼グローバルキーアカウントおよび輸出担当シニアバイスプレジデントである Christian Gerwens（クリスチャン・ガーウェンス）は、ベルリンで開催された IFA キック

オフでこれらの質問に答えました。「Imagine the Future」（未来を思い描こう）というキャッチフレーズを掲げ、プレミアムメーカーMieleのスマートホームのビジョンと、Mieleがどのようにしてこの未来を積極的に形作っているかを紹介しました。また、未来の暮らしをさらに便利に、スマートに、インテリジェントにするものとして、IFAで発表される製品イノベーションの一端を初披露しました。

「Mieleが考える未来とは、家が自ら考え、お客様の日常生活を目に見えて楽にするというものです」とGerwensは述べています。Mieleは、ブリュッセルで実施中のサンプルプロジェクト「Living Tomorrow」において、80社以上のパートナー企業と協力して未来の暮らしのあり方を紹介しています。プロジェクトの一環として設置したフードラボでは、未来のキッチンのビジョンをデモンストレーションしています。これには、個人の好みやフィットネスデータに基づいてパーソナライズされた食事プランを作成する「Nutrition Assistant」や、調理プロセスをインタラクティブにガイドする「Cooking Companion」が含まれます。フードラボでデモンストレーションしているアプリケーションはすべてプロトタイプです。

「こうしたプロジェクトから学んだことは、人が家電製品に適応するのではなく、家電製品が人に適応する必要があるということです」とChristian Gerwensは述べています。マルチモーダル運用のコンセプト、インテリジェントソフトウェア、および人工知能は、テクノロジーを直感的でアクセスしやすく、個人的に関連のあるものにするための鍵です。料理を手伝ったり、エネルギーの節約を支援したり、パーソナライズされたソリューションを提供したりするスマートサービスは、すでに日常生活に欠かせないものになっています。その一例がMieleのSmart Food ID機能です。この機能は、オープン庫内のカメラを使って料理を認識して自動的に調理するもので、より多くの料理をより少ない労力で成功に導きます。

「次のレベルの調理」の到来を告げる Miele の新しいダウンドラフト型排気装置

「Imagine the Future」にさらに弾みをつけるために、Mieleは2025年に展示会デビューを果たす最初の製品イノベーションの発表を皮切りにイベントを開始します。「まだ多くは明かせませんが、MieleはIFAにおいて次のレベルの調理の到来を告げる予定です」とGerwensは述べています。その1つが強力でエネルギー効率に優れた新しいダウンドラフト型排気装置で、AmbientLightのおかげで調理中もそうでないときも雰囲気のあるアクセントを生み出します。お客様は、アプリを介して自分の好みの設定や装置の制御を行えます。製品イノベーションのもう1つの見所は、新しいTriflex HX3 Pro Aquaです。これは、Mieleのウェットクリーニング参入を示すものであり、Warentest財団（ドイツ商品テスト財団）による商品テストにて、コードレス掃除機部門で評価No.1を獲得した最新製品

(2024 年 10 月時点) の次世代に当たります。この強力なコードレス掃除機は、洗浄水タンクを内蔵した革新的な Aqua Twister Pro フロアノズルにより、必要なときに瞬時にウェット掃除機に切り替えることができます。「Triflex HX3 Pro Aqua は、弊社の人気多機能コードレス掃除機 HX2 の開発における次のステップとして理にかなっており、先代モデルよりもさらに使いやすくなっています」と Christian Gerwens は述べています。



IFA キックオフで発表されたもう 1 つのイノベーションとして、カメラを内蔵した新しい MasterCool 冷蔵庫

(FoodView) があります。FoodView ソリューションは、冷蔵庫内をいつでもどこからでも確認できるようにするもので、食材の保存状況を把握しやすくすると同時に、日常生活における食品ロスを削減し、サステナビリティの向上に貢献します。

新しい展示会コンセプトが高い基準を設定

新しいブースコンセプトもサステナブルです。Miele は、リサイクル素材、カーボンポジティブのカーペット（残留物を残さずにリサイクル可能）、モジュール式軽量デザインを特徴とする展示会／イベントコンセプトを提示します。また、アルミフレームと軽量リサイクル素材（ペットボトル）を使用することにより、輸送コストと保管コストを約 50%削減しました。

Miele は、例年通り Premium Hall 2.1 で幅広いイノベーションを展示します。ブースでは、ミシュラン 2 つ星シェフ、Alexander Herrmann（アレクサンダー・ヘルマン）氏が試食品として魅力的なグルメ料理を提供する予定です。

※当プレスリリースに掲載の全製品について、日本での発売は未定です。

【Miele について】 Miele（ミーレ）は、125 年以上にわたり、品質、革新性、時代を超えたエレガンスにおける「Immer Besser（常により良いものを）」のブランドプロミスを掲げてきました。創業は 1899 年で、現在は世界中で事業を展開するプレミアム家電メーカーとして、先駆的なコネクテッドホームソリューションでお客様に刺激を与えています。また、ホテルや介護施設などの業務用機器、システム、サービスのほか、医療テクノロジーも提供しています。さらに、耐久性と省エネ性に優れた家電製品により、お客様のサステナブルな暮らしを可能な限りサポートしています。弊社は、創業家であるミーレ家とツィンカン家がオーナーです。2024 事業年度は、従業員数約 2 万 3,500 人で 50 億 4,000 万ユーロの売上高を計上しました。グローバルネットワークは、19 の生産工場と約 50 のサービス会社・販売会社で構成されています（2025 年 2 月時点）。本社はノルトライン=ヴェストファーレン州ギュータースローにあります。

本記事には 4 枚の写真が付いています



写真 1：Miele の DACH 地域担当兼グローバルキーアカウントおよび輸出担当シニアバイスプレジデントである Christian Gerwens（クリスチャン・ガーウェンス）は、IFA のキャッチフレーズ「Imagine the Future」に沿って、インテリジェントホームの未来と、Miele がどのようにしてそれを積極的に形作っているかの一端を披露しました。（写真提供：Miele）



写真 2：Miele は、ブリュッセルで実施中のサンプルプロジェクト「Living Tomorrow」において、80 社以上のパートナー企業と協力して、未来の暮らしのあり方と未来のキッチンを紹介しています。（写真提供：Living Tomorrow）



写真 3：製品イノベーションの 1 つである Triflex HX3 Pro Aqua は、掃除機とモップを 1 つに融合した製品で、床を塵ひとつない状態に掃除します。この強力なコードレス掃除機は、洗浄水タンクを内蔵した革新的な Aqua Twister Pro フロアノズルにより、必要なときに瞬時にウェット掃除機に切り替えることができます。（写真提供：Miele）



写真 4：Miele の DACH 地域担当兼グローバルキーアカウントおよび輸出担当シニアバイスプレジデントである Christian Gerwens（クリスチャン・ガーウェンス）は、IFA のキャッチフレーズ「Imagine the Future」に沿って、インテリジェントホームの未来と、Miele がどのようにしてそれを積極的に形作っているかの一端を披露しました。（写真提供：Miele）

記事および写真のダウンロード: www.miele-press.com

ソーシャルメディアアカウント

